

此險此難を如何せん。況んや人情の常として、辛苦は辛苦丈け、其の進退を共にする場合は縦ひ一禽獸に對するも愛情豈異らんや。彼も此も畢竟已むを得ざるの結果のみ。

放棄せられたる荷物の中には、或は商人のものも有らん。或は普通旅客のものも有らん。或は貴重の物品も有らん。或は稀有の資料も有らん。堅く梱縛せられたる是等の荷物は、其の幾年前の放棄に係りしや、得て知るべからずと雖も、何人も手を下すこと無ければ、又何人も一顧をだに與ふること無し。言ふ勿れ無慾も亦甚しからずやと。何ぞ料らん敢て關せざるこそ却つて大慾なれ。『木乃伊取は木乃伊と爲る』若し小慾の爲め。之を搬送せんとせば未だ一日を出でざるに之が爲め遂に從來携帶せし總ての荷物をも放棄せざるべからざるに至るは、瞭々として火を觀るよりも明かなりとす。斯る有様なるより觀察するも、如何に此山道通過の困難なるを知るに足らん。

一一 狼群に遇ふ

九月三十日午前六時三十分出發す、時に天半は曇り、寒暖計正に三十度を示せり。

木乃伊取
は木乃伊
となる